

# こどもと地図 4年

地図 with ご当地訪問

は む ら

## 羽村取水ぜき

水道水がどこからきているのかを学ぶとき、地図帳でダムやせきの場所を確認すると理解が深まります。今回は、東京都での学習を例に羽村取水ぜきについて紹介します。

はむら 羽村取水ぜき



(上) 村山貯水池の風景  
(左) 新緑の季節の玉川上水

(写真3点: PIXTA)



地図帳p.71~72

「水はどこから」の単元では、水道水がどこからきているのかを学びます。このとき、東京都に住んでいる児童なら、必ず学ぶのが羽村取水ぜきです。直接、見に行くことができれば一番ですが、それができない場合は、ぜひ地図帳で羽村取水ぜきがどこにあるのかを確認してみましょう。

雨の水は自然の森に貯蔵され、川となり、海へと流れ出ます。その途中で川の水を取水ぜきで取り込み、貯水池などに貯めて、浄水場できれいにした水が水道水として使われています。

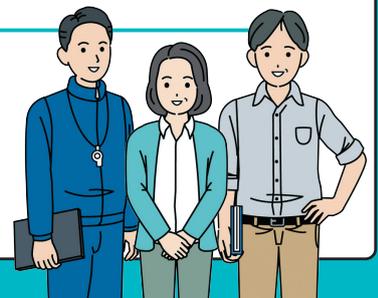
羽村取水ぜきの歴史は古く、江戸時代の1653(承応2)年に玉川上水と同時に建設されました。江戸の町に急激に人口が増えたため、多摩川の水を生活用水と

して江戸の町に引き入れることが目的でした。今でも、羽村取水ぜきで取水した水が、村山・山口貯水池や、玉川上水を経由して東村山浄水場に導水され、東京都民の生活水として使われています。地図帳のp.71~72には、羽村取水ぜきや村山・山口貯水池、玉川上水、さらに東村山浄水場には(おもな浄水場)が記されているので、それぞれの場所を確認し、玉川上水や多摩川の水の流れを指でたどってみてはいかがでしょうか。

東京都以外の学校でも、ぜひ地域を流れる川について地図帳で場所を確認してみてください。水がどこからきているのかについて、より理解が深まることでしょう。

4年担当の先生で  
ご回覧ください。

--	--	--	--	--



地図帳を使った調べ学習では、ただ調べるのではなく、児童が自ら調べたいような問いかけが重要です。「自分たちのALTの先生に贈るなら」という具体的な問いかけから特産品を選んでみましょう。

# 県のおすすめ特産品を贈ろう

●徳島県 公立小学校 教頭

## 問い

地図帳を使って、ALTの先生に徳島県のおすすめ特産品を選んでみよう。

3つの品物を箱につめるとしたら、どれを選びますか。



地図帳p.41~42

## 1

### 地図帳から県の特産品をピックアップする

4年生の社会科学習は、3年生と比べ、学習対象とする範囲が拡大します。そのため、各種資料とともに地図帳をより効果的に活用することは、児童の思考を促し、理解を助けるために有効です。しかし、単に特産品について調べ、ワークシートなどにまとめるだけでは、児童の学習意欲を喚起することは難しいでしょう。児童が思わず調べたくなり、考えたい問いを投げかけたいものです。

上の問いを受けて、児童は例えば、次のような3品を選ぶと予想できます。伝統産業の素晴らしさを伝えたいと考える児童は、「藍染め」「大谷焼」「阿波和紙」を選ぶでしょう。さらに、それらを選んだ理由について、根拠を示しつつ明らかにすることにより、特産品が大切にされてきた背景や県の特徴について深く考えることができます。

#### ✓ 地図中にある特産品の例



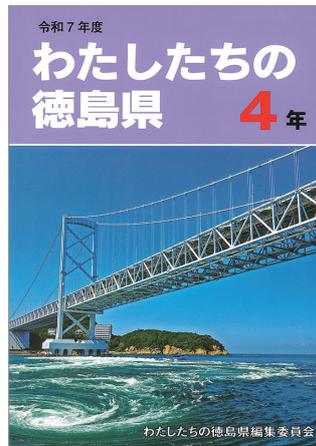
地図帳(左)p.44、(右)p.47

## 2

### ピックアップした特産品をさらに詳しく調べる

この学習においては、各地域で作成している副読本も活用することをおすすめします。地図帳の関連ページと照合しながら副読本を使って調べることにより、学習内容の理解がより深まります。徳島県の多くの小学校では、『わたしたちの徳島県』(わたしたちの徳島県編集委員会)を使用しています。本稿に関連する内容として、「3 わたしたちの県のまちづくり」では、藍染めと大谷焼が取りあげられていますので、この2つについては詳しく調べることができます。なお、児童が調べたくなるような問い方は、他の単元においても使うことができます。単なる調べ学習にとどまらず、地図帳の効果的な活用とともに問いの工夫も必要です。

#### 副読本で紹介されている大谷焼



令和7年度「わたしたちの徳島県 4年」



## 3

### 選んだ特産品について友達と主張を交流する

児童は、友達と主張を交流することを通して、地図帳や副読本に記載されている特産品以外にも、さまざまな特産品があることを理解し、それらが大切にされてきた理由について考える機会を持つことができます。このように、地域の題材を教材にすることで、学習内容を自分の生活と結び付けて深く考えるようになります。「調べて終わり」ではなく、「社会を動かす(ことにつながる)小さな一歩」を体験する学習を積み重ねることにより、「持続可能な社会の創り手」を育てるといふねらいに迫ることができるのではないのでしょうか。このような学習を展開する際、地図帳のQRコンテンツ「47都道府県地図」が参考になります。「おもな伝統文化・先人」などの項目を抽出して表示できるので、児童の調べ学習の一助となるでしょう。

#### QRコンテンツの徳島県の地図



「地形のようす」「おもな伝統文化・先人」など内容別に表示を切り替えられる

『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』  
QRコンテンツ「47都道府県地図」は  
こちら



本記事はアプリ「帝国書院」に  
掲載した内容に加筆したものです。

アプリ「帝国書院」\*では他にもたくさんの  
地図帳活用例を紹介しています!

\*あらかじめ「帝国書院」Webサイトに会員登録が必要です。



帝国書院

アプリ  
ダウンロードは  
こちらから

App Store



Google Play



今日から使える!

デジタルコンテンツ

QRコンテンツ

# 都道府県の地図を テーマごとに見てみよう

「わたしたちの県」の学習では、地図帳のQRコンテンツ「47都道府県地図」を活用しましょう。各都道府県の地図を「地形のようす」「土地利用のようす」など8つのテーマごとに表示することができるので、自分たちが暮らす都道府県のなりたちを理解することができます。

まずは「地形のようす」で、山や平地、川の流れをチェック。そのうえで「土地利用のようす」を見ると、生活しやすい平地に市街地が発展し、川に沿って田や畑が広がっていることがわかります。さらに、「交通のようす」で地形と交通の発展の関連性を確認し、お

もな交通網は、地理的に設置しやすい場所を選んで敷設されていることを理解しましょう。「おもな工業」では、交通網に沿って工場が立地していることがわかります。さらに、帝国書院Webサイトから、このQRコンテンツの内容に対応したワークシートと指導用の活用例をダウンロードできます。ぜひご利用ください。

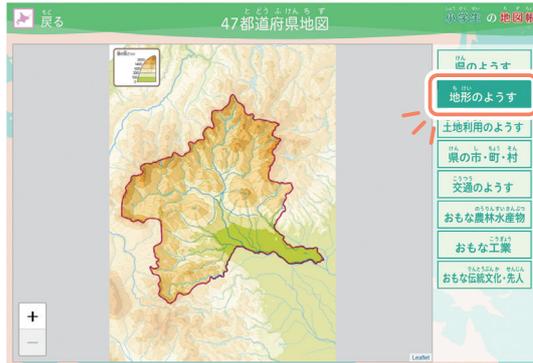


ワークシート「交通と工業」

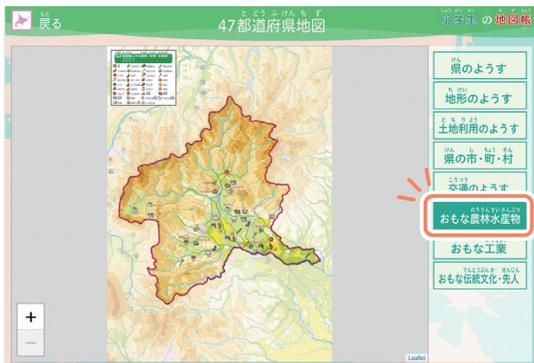
地図をさまざまなテーマごとに表示することができます。



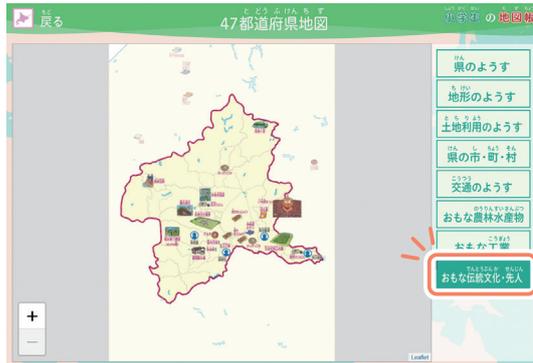
群馬県を選ぶ



「地形のようす」を選択



「おもな農林水産物」を選択



「おもな伝統文化・先人」を選択

47都道府県  
地図はこちら



各都道府県に対応した  
ワークシート・活用例  
はこちら



わくわく授業づくり!こどもと地図 4年 2026年度前期号

2026年3月13日発行 (No.74) ©Teikoku-Shoin Co.,Ltd.2026

発行所 東京都千代田区  
神田神保町3-29 (〒101-0051)  
株式会社帝国書院

発行人 守屋 智央  
電話 03-3262-4795(代)  
https://www.teikokushoin.co.jp/

「わくわく授業づくり!こどもと地図」は  
Webサイトからも読むことができます。



こどもと地図についてのご意見・ご感想はこちらまで



本誌で掲載している地図帳は、令和5年検定済「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。

(QRコード使用上の注意) QRコードを読み取って表示されたサイトにアクセスした際には、別途通信料がかかる場合があります。

(本誌掲載の他社商標について)

・QRコードは、株式会社デンソーウェブの商標または登録商標です。・その他の会社名および製品名・ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

教授用資料